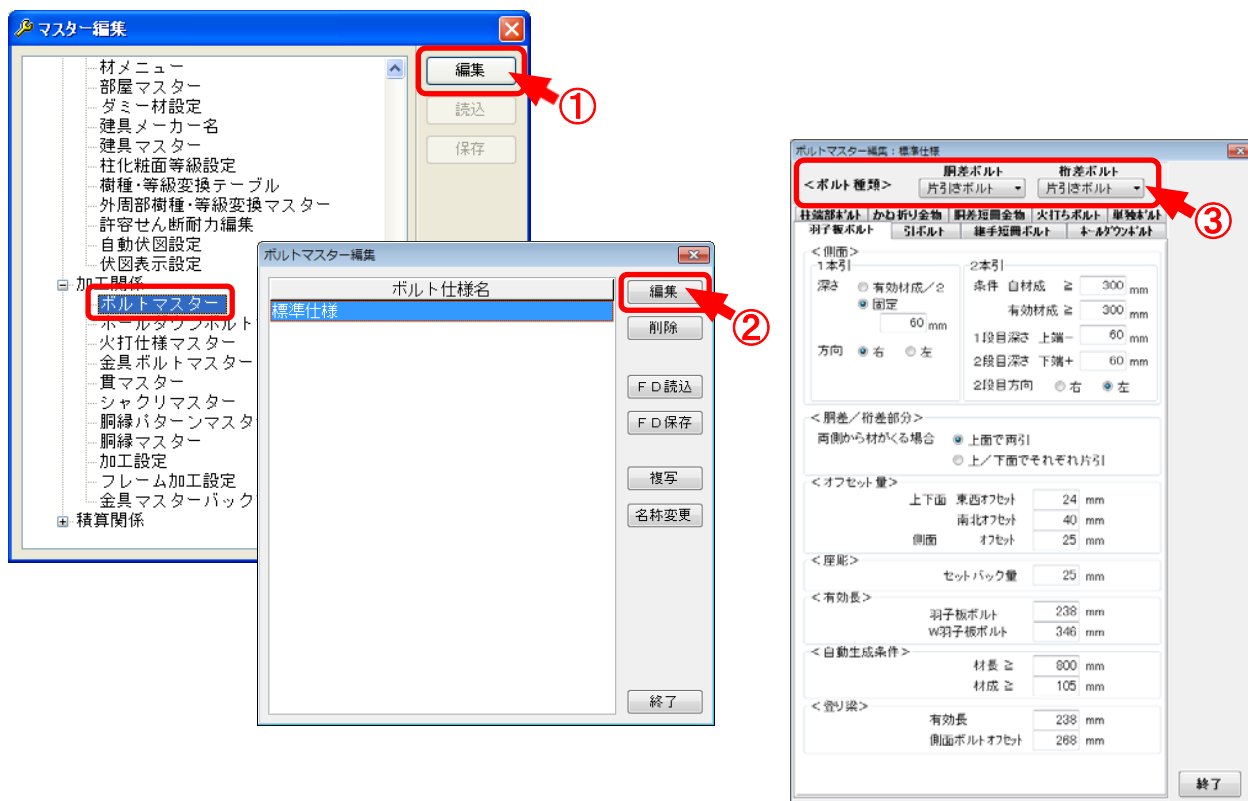


加工関連マスター—ボルトマスター



ボルトマスターでは、〔入力〕—〔ボルト〕または〔自動生成〕—〔ボルト〕に反映する設定を行います。

- ① 〔補助〕—〔マスター編集：ボルトマスター〕を選択し、「編集」をクリックします。
- ② 〔ボルトマスター編集〕の画面が表示されますので、ボルト仕様を選択し、「編集」をクリックします。
- ③ 「胴差ボルト」「桁差ボルト」でそれぞれの仕口ボルトの設定が行えます。

胴差、桁差加工時に使用するボルトを選択します。

羽子板ボルト、片引きボルトが選択できます。

「削除」：ボルト仕様を削除します。

「F D 読込」：ボルト仕様の読込を行います。

「F D 保存」：ボルト仕様の保存を行います。

「複写」：ボルト仕様の複写を行います。

※ 複写時にボルトマスター仕様名を設定して登録を行います。

「名称変更」：ボルト仕様名の変更を行います。

加工関連マスター—ボルトマスター



ボルトマスターのボルト深さ、有効長、オフセット量などの設定は、設定後に入力または自動生成されたボルトにのみ有効です。

入力作業途中で設定を変更した場合でも、すでに入力済みのボルトには影響しませんので、注意してください。

なお、この場合でも自動生成：ボルトメニューで新規を指定して生成しなおした場合には、ボルトは一旦削除された後、すべて再生成されますので、結果として新しい設定に基づいたボルトになります。